

滋賀県ゆかりの名手の競演

滋賀県・関西ゆかりの

実力派アーティスト3名

によるトリオ・コンサート

芸術劇場びわ湖ホール

との連携協力により実現

した至高の時を

お届けします。

Program

ハイドン：ピアノ三重奏曲

ホ短調 Hob.XV:12

ショスタコーヴィチ：ピアノ三重奏曲

第2番 ホ短調 Op.67

シューベルト：ピアノ三重奏曲

第2番 変ホ長調 D.929

Piano

Trio

Natsumi Tamai



玉井菜採

©尾形正茂

Wataru Hisasue



久末航

©Kei Uesugi

Fumiaki Kono



河野文昭

©尾形正茂

びわ湖ミュージックフォレスト 2021 File8

室内楽 ピアノ三重奏

開催日時：令和3年12月12日(日) 14時開演(13時30分開場)

会場：滋賀県立文化産業交流会館 小劇場

チケット：前売2,000円(税込/全席自由)※当日500円UP/未就学児入場不可

プレイガイド：滋賀県立文化産業交流会館窓口及びHP

(HPオンラインチケット：<https://www.s-bunsan.jp/ticket>)

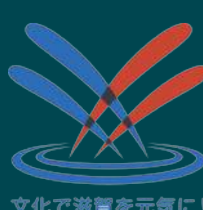
※文化産業交流会館のみ電話予約にて当日引取り可能
びわ湖ホールチケットセンター(現金・窓口のみ)

お問合せ：滋賀県立文化産業交流会館 ☎0749-52-5111、✉bunsan@biwako-arts.or.jp

10月2日(土)
10時より発売開始



会館HP



文化で滋賀を元気に!

主催：滋賀県立文化産業交流会館、助成：公益財団法人平和堂財団、後援：滋賀県教育委員会、協力：しがぎん経済文化センター

※コロナ禍における鑑賞マナーのお願い：本公演につきましては、入退場時における手の消毒、受付時のサーモグラフによる体温測定、ホール内設置のCO2センサーによる換気の判断をおこなっておりますが、マスク対策に加え、コロナ禍における鑑賞マナーにもご協力をお願いいたします。

室内楽 ピアノ三重奏

滋賀県・関西ゆかりの実力派アーティスト3名によるトリオ・コンサート



ヴァイオリン
玉井菜採
Violin: Natsumi Tamai



ピアノ
久末 航
Piano: Wataru Hisasue



チェロ
河野文昭
Cello: Fumiaki Kono

京都に生まれ、大津市に移り住んだ4歳からヴァイオリンをはじめる。桐朋学園大学在学中に、プラハの春国際コンクールヴァイオリン部門に優勝。東儀祐二、小國英樹、久保田良作、立田あづさ、和波孝禧らの諸氏に師事。大学卒業後に渡欧、アムステルダム・スヴェーリンク音楽院でH. クレバース氏、ミュンヘン音楽大学マイスタークラスにてA. チュマチェンコ氏に師事。この間、J.S. バッハ国際コンクール最高位をはじめ、エリザベート王妃国際コンクール、シベリウス国際コンクールなど、数々のコンクールに入賞している。滋賀県文化奨励賞、平和堂財団音楽奨励賞、文化庁芸術祭新人賞、京都府文化賞奨励賞などを受賞。ソリストとして国内外のオーケストラと共演を重ね、リサイタル、室内楽の分野でも活発な演奏活動を展開している。紀尾井ホール室内管弦楽団コンサートマスター、東京クライスアンサンブルメンバー、アンサンブル of トウキョウ ソロヴァイオリニスト。びわ湖ミュージックハーベスト音楽監督。東京藝術大学音楽学部教授。使用楽器は藝大所蔵の Stradivarius “Ex-Park” (1717)。

大津市出身。2009 年度青山音楽賞新人賞を中学生で受賞。第7回リヨン国際ピアノコンクールで第1位及び聴衆賞、メンデルスゾーン全ドイツ音楽大学コンクールで第1位及び特別賞受賞。2017 年、第66 回ミュンヘン国際音楽コンクールで第3位及び委嘱作品特別賞受賞。AUDI 音楽フェスティバル、ヴェルツブルグ音楽祭など数々の音楽祭に出演。バイエルン放送響、シュトゥットガルト室内管、京都市響などと共演を重ねる。コンツェルトハウス・ベルリン、紀尾井ホールで開催したリサイタルはいずれも高い評価を得た。平和堂財団芸術奨励賞音楽部門受賞、同財団海外留学助成者。滋賀県次世代文化賞受賞。(公財) ロームミュージックファンデーション奨励学生。シャネル・ピグマリオン・デイズ 2019 アーティスト。小島燎氏とのデュオで2019 年度京都青山バロックザール賞受賞。高校卒業後に渡独し、フライブルク、パリ、ベルリンにて研鑽を積む。村上久仁子、田隅靖子、G. ミショリ、E. シュトロッセ、P. ドヴァイヨン、K. ヘルヴィヒ各氏に師事。ベルリン在住。

京都市立芸術大学卒業。1982 年に文化庁在外派遣研究員としてロスアンゼルスで、その後ウィーン国立音楽大学にて研鑽を重ねる。黒沼俊夫、G. ライトー、A. ナヴァラの各氏に師事。1984 年帰国後、独奏者としてフィンランドの作曲家コッコネンの協奏曲、ルチアーノ・ベリオの「セクエンツァ XIV」の日本初演を行うなど活躍する。現在アンサンブル of トウキョウ、紀尾井ホール室内管弦楽団、静岡音楽館(AOI)・レジデンス・クワルテット、東京クライスアンサンブルなどのメンバーとして、室内楽の分野でも国内外で精力的な演奏活動を行っている。また別府アルゲリッチ音楽祭にもたびたび参加し、M. アルゲリッチやY. バシムメットなどと共演。1993 年～2003 年、ゆふいん音楽祭音楽監督を務める。1981 年第50 回日本音楽コンクールチェロ部門第1位、1992 年大阪府文化祭賞、2004 年京都府文化賞功労賞等を受賞。2017 年京都市文化功労者。びわ湖ミュージックハーベスト講師。東京藝術大学教授。使用楽器は N.Lupot “Ex-Mercadier” (1822)。

10月2日(土)
10時より発売開始



会館 HP

プレイガイド

滋賀県立文化産業交流会館窓口及び HP
(HPオンラインチケット: <https://www.s-bunsan.jp/ticket>)
※文化産業交流会館のみ電話予約にて当日引取り可能
びわ湖ホールチケットセンター(現金・窓口のみ)

交通のご案内:

公共交通機関: JR 米原駅西口より徒歩7分
自動車: 主要交差点より10分
(南方より) 国道8号線米原駅東口北左折(高架上る)
(北方より) 国道8号線米原警察署前右折(高架上る)
高架より直進、麒麟堂越え左折後、200m左手駐車場
県道2号線(湖周道路)入江橋交差点右左折後、直進
麒麟堂手前交差点右折後、200m左手駐車場

びわ湖ホール公演のご案内

12月11日(土) 14時開演
※同プログラムにてお送りいたします。
〒520-0806 滋賀県大津市打出浜 15番1号
☎ 077-523-7136 <https://www.biwako-hall.or.jp/>

お問合せ: 滋賀県立文化産業交流会館 ☎521-0016 滋賀県米原市下多良二丁目 137
☎0749-52-5111、✉ bunsan@biwako-arts.or.jp (月曜日休館 / 祝日の場合は翌日)

※コロナ禍における鑑賞マナーのお願い: 本公演につきましては、入退場時における手の消毒、受付時のサーモグラフによる体温測定、ホール内設置のCO2センサーによる換気の判断をおこなっておりますが、マスク対策に加え、コロナ禍における鑑賞マナーにもご協力をお願いいたします。